

修部会活動報告（2007年度）

東松山研修室長 河野良継

1. 東松山研修室においては、1・2年生（国際関係学部生は1～4年生）等を対象に、基礎学力の養成を目的とした講義・演習を中心とする講座・科目として、法職・ロースクール進学対策講座を開講している。これは、旧司法試験、国家Ⅰ種・Ⅱ種、地方上級、司法書士、宅地建物取引主任者などの試験に加えて、ロースクール既習者コースへの進学にも必要とされる基礎学力の養成を目的とするコースである。今年度は1年生が50名以上登録し、かつ他学部学生の受講生も増えるなど昨年に比べて受講生が大幅に増えている。
2. 研修室には、研修の便宜をはかるために、若干の施設が用意されている。もっとも、現状では、あまり整備された環境であるとは言い難い。例えば、研修室のスペース、照明の明るさ、机のサイズおよび数、出入り口の引き戸の音等、改善されるべき点が多い。特に今年度は受講生の増加に伴い、机の数が不足している。現在の研修室のスペースではこれ以上机を置くことは難しいため、次年度以降何らかの対策が必要になるかと考えられる。また以前より指摘されていることではあるが、研修生が落ち着いて勉学するためにも、勉学用・事務用の2部屋が必要かと思われる。欲をいえば、研修生が勉強会で議論しあったり、あるいは一息入れることができたりするような室（談話室）を設けてもらえれば、私語のような問題も解決されるであろう。参考書や雑誌の数については、ここ数年で多少なりとも充実をはかってきたが、まだ十分であるとはいえないので、今後一層の充実が望まれる。
3. 今年度の受講生の増大は、研究所長と事務方による地道なPR活動の成果かと思われる。受講生の数が増えることで研修生相互で刺激しあい、そのことによって、各自の学習意欲がより奮起されるであろうことを考えるならば、法学部生はもとより、他学部生にも受講するよう、次年度以降も引き続きPR活動に力を注いでいく必要があると思われる。
4. 最後に、東松山研修室付きの庶務担当として長年勤めてこられた職員の方が、一身上の都合で年度途中で退職されることと相成った。これまで東松山研修室の円滑な運営に多大なご助力をいただいたことに対し、この場を借りて改めて御礼申し上げる次第である。